

赤れんが通信



北海道庁の金昭賢(キム・ソヒョン)国際交流員が、韓国の友好地域との交流事業及び北海道の情報などについて書いたレポートをご紹介します。

予想通り、秋はあっという間に過ぎてしまいました。札幌は11月第1週まで昼間は半袖一枚で過ごす人が見られるほど暖かったですが、その翌週から気温が急に下がり始め、11月11日に初雪が降りました。今年の冬は気温が高い「暖冬」になるそうですが、私にとって北海道の冬は相変わらず寒く感じられます。12月初めには日本で最も寒い地域として知られる北海道の陸別町で20年ぶりに肉眼でオーロラが観測されました。

北海道の豊かな秋



「フルーツの郷」と呼ばれる余市町を訪問し、果樹園で果物狩りをしました。時間内にりんご、もも、梨、ぶどう、ブルーベリーなどを収穫しながら、もぎたての果物をたくさん食べてきました。

余市町は特にりんごが有名な地域ですが、ワインの醸造に使用されるぶどうも大規模で栽培されており、「ワイン特区」にも指定されています。

他にも、ニッカウヰスキー蒸留所が開設された地、日本初の宇宙飛行士である毛利衛の出身地、古くからニシン漁で栄え、北海道民謡である「ソーラン節」が発祥した地としても知られています。

十勝地方に位置する新得町は全国有数のそばの生産地です。この地域では9月の最終日曜日に、採れたてのそばで作った美味しいそばが味わえる「しんとく新そば祭り」が開催されます。今年は規模縮小での開催となったため、7,000食のそばを2時間半の間に限定販売することになりました。

新得駅には札幌と帯広、釧路を結ぶ特急列車が停車するので、会場まで気軽にいくことができました。

開場前から既に大勢の人が押し寄せ、会場は賑わっていました。約2時間を並んで食べたそばは豊かな風味でも美味しくかったです。

焼き芋は、韓国では代表的な冬のおやつの一つですが、日本では秋の味覚に近いようです。

紅葉の名所として有名な札幌市の中島公園では、今年初めて屋外で焼き芋やお芋のスイーツを販売する「さっぽろ焼き芋テラス」イベントが開催されました。

一時間以上並んで食べる焼き芋の人気にも驚きましたが、販売しているメニューの中には、焼き芋の上にキムチとクリームチーズを乗せて「韓国料理」と紹介しているものもあって驚きました。皆さんはどんなさつまいもが好きですか？ 私はねっとり派です。

駐日韓国大使 北海道庁訪問



12月7日、尹徳敏(ユン・ドクミン)駐日韓国大使と裴炳洙(ペ・ビョンス)駐札幌大韓民国総領事が北海道庁を訪れ、鈴木直道北海道知事を表敬訪問しました。

鈴木知事は「韓国と北海道は友好関係を結び、幅広い交流を進めているとても身近な関係」、「日本と韓国は共通の価値観を有する隣国であり、重要なパートナーだ」とし、「今後交流が一層活発となるよう協力してほしい」と述べました。

尹徳敏駐日大使は、「様々な交流が正常化し、韓日1,000万人交流の時代が再び到来する見込みだ」とし、「韓国の友好地域と北海道の交流が一層進展することを期待している」と話しました。

日本一魅力的な地域は？

秋に入ると、日本では様々な「今年のランキング」が発表されます。私はこのようなニュースが次々に見られるようになると、年末が大分近づいてきたような気がします。毎年10月中旬ごろ発表されるブランド総合研究所の「都道府県魅力度ランキング調査」結果は、注目が集まるニュースの一つです。今年で18回目を迎えた「地域ブランド調査」は、日本国内1,000の市区町村と47都道府県の地域名称について認知度や魅力度、イメージなどを評価する消費者調査で、北海道は今年も1位となり、「15年連続で最も魅力的な都道府県」に選ばれました。

札幌市も3年連続で「魅力的な市町村1位」の座を守りました。道内では今年も函館市、小樽市が10位内にランクインしました。日本で最も魅力的な地域という恵まれた環境で国際交流員の生活を送ることができて幸運だと思います。



▲札幌(市街地の風景)



▲函館(五稜郭の雪景色)



▲小樽(運河の夜景)

北海道(札幌)に住んでみて良かったところ！

1. 心身ともに癒される自然環境と澄んだ空気、青い空
2. 低い人口密度と余白の多い風景
3. 様々な年間イベントと活気に満ちた町の雰囲気
4. 美味しい食べ物！種類豊かで新鮮な食材
5. 市内にも子どもたちが自由に遊べる場所が多い

意外なところも...!

1. 半年も続く長い冬！ドカ雪で追いつかない除雪
2. 人口減少や人手不足で廃止されていくバス路線
3. 1,500円もする送料（配送不可地域となる場合も…）
4. 市内にもたまに出没するヒグマと鹿、キツネ
5. だんだん長くなる暑い夏と低調な冷房施設の普及率

北海道のクリスマスシーズン



夜が一層美しく輝く季節がやって来ました。11月末からは札幌市内のあちこちでイルミネーションが見られます。韓国で「徳寿宮(トクスグン)の石垣道をカップルで歩くと別れる」と言われるように、札幌には「ホワイトイルミネーションを一緒に見に行ったカップルは別れる」という俗説があります。



韓国とは異なり、日本はクリスマスが祝日ではありません！しかし、11月から展開されるクリスマスマーケティングや様々なイベントのおかげで、どこでもクリスマスムードが漂っています。日本ではクリスマスにケンタッキークッキーを食べる人も多く、この期間の売上は一年の中で最も高いそうです。



函館でも穏やかな冬景色が見られます。バイエリアの赤レンガ倉庫群周辺では「はこだてクリスマスファンタジー」のイベントが開かれ、約15万個の電球が飾られたクリスマスツリーも設置されています。これはなんと建物7階に相当する高さだそうです！

✓ 赤れんが通信
バックナンバーは
こちら



✓ 北海道庁
国際課
FACEBOOK



✓ 編集者・発行先 総合政策部 国際局 国際課
北海道札幌市中央区北3条西6丁目
TEL : +81-11-231-4111 FAX : +81-11-232-4303

